



# Controversy

## 脂質異常症診療のControversy

第一線のドクターに訊いた  
アンケート調査による診療実態

脂質異常症診療の実態を知るため、本誌編集アドバイザーである全国の各領域専門医を対象にアンケートを実施した。本誌では2008年に、高LDLコレステロール血症診療における薬物治療についてアンケート調査を行っている。それから約6年半が経ち、その間に「動脈硬化性疾患予防ガイドライン」が改訂され、また米国では「ACC/AHA脂質管理ガイドライン」が発表されている。そこで今回は、各医師の現在の薬物治療の実際と考えるについてうかがった。

### THEME 10 高LDLコレステロール血症診療における薬物治療の実際 — 6年半でどう変わったか —

監修・コメント

名古屋大学大学院医学系研究科  
循環器内科学教授

室原豊明

アンケート調査概要

対象：全国の内科医64名(本誌編集アドバイザー)  
方法：郵送、FAX調査  
有効回答：39(60.9%)  
実施期間：2014年12月1日～12月25日  
回答者年齢：40歳代：2.6%、50歳代：51.2%、  
60歳代：43.6%、70歳以上：2.6%

回答者の専門領域 [有効回答数39/複数回答あり]

